

総務文教常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年10月17日(月)

開催場所：1・2号委員会室

総 務 部

1. 人事院勧告について

令和4年8月に人事院が国会及び内閣に勧告した内容で10月に閣議決定したことを受け、民間における初任給の動向等を踏まえた給与は平均0.3%引き上げ、期末・勤勉手当は4.40月分(+0.10月)となり、本町においてもこれまで原則的に人事院勧告に準拠した給与制度としているため、所要の制度改正を予定するとの報告がありました。

2. ふるさと応援制度推進事業について

令和4年9月末現在の寄附件数は2,085件、寄附金額は31,189,100円で、令和3年9月末と比較して金額は0.97倍とほぼ横ばい状態です。

白糠町及び別海町にて情報収集を行い、返礼品事業者との会議や新規事業者説明会など事業者との連携強化に努める一方、ふるさと納税のサイトも今年度新たに3サイト開設し、年内にさらに3サイト導入予定です。

サイトのリニューアルの他、中標津町ふるさと応援大使を創設し、PRに努めることが報告されました。

【主な質疑】

委員：返礼品新規事業者説明会について、参加者数が少なく中止にした際、参加予定だった事業者へはどのような対応をされましたか？また、新規返礼品事業者の2社は説明会経由ですか？

担当：説明会に参加予定だった事業者へは、電話で説明を行いました。新規事業者は、説明会経由ではなく、炭を扱う事業者とANAのダイナミックパッケージという航空券を扱う事業者です。

委員：新規事業者獲得のためには、紙面で募集するだけでなく、アンテナを張って歩いて回るべきではないですか？

担当：アンテナを張って情報発信及び準備・対応をしていきます。

委員：白糠町、別海町へのヒアリングで、返礼品の送料と、ふるさと納税サイトのレビュー対応へのアドバイスなどをいただいたようですが、本町のレビュー対応は中間事業者が行っていますか？

担当：レビュー対応は町が行うことになっていますが、現状、回答できていないので、中間事業者の見直し等も含め来年度の体制を検討します。

3. 町有財産の管理について

所有権移転登記手続請求控訴事件に関し、和解が成立したことが報告されました。

4. 中標津町 80 年史の発行計画について

令和 7 年 7 月に開町 80 年を迎えることを記念し、平成 6 年の 50 年史発行後の町勢のできごとをまとめ、開町 80 年の記念事業の一つとすることが報告されました。

【主な質疑】

委員：編さんに当たる専門委員会の委員は、どのような方を想定していますか？

担当：中身の深い執筆をいただくために、職員外で退職教員の方や経済団体・農協など、幅広い分野で活躍された方で、過去の実績等も踏まえ委嘱を予定しており、現在人選を進めています。

教育委員会

1. 東小学校の倒木について

9 月 14 日、強風のため東小学校のグラウンド東側の立木が倒れ、学校は白線を引くなど児童に注意喚起し、他に倒木がないか確認。倒れた木は 16 日早朝に伐採処理されたことが報告されました。

2. 郷土館について

平成 24 年 9 月、前町長が就任の所信表明で検討を進めることとしていました。ここ数年、進展が見られずにいましたが、文化財保存活用地域計画の一環として文化庁の補助を受けて、令和 5 年までに計画の策定中であることが報告されました。

3. 給食センターについて

慢性的な調理員不足に陥り、現在は 5 名足りない状況で調理が行われ、栄養教諭や事務職員も補助しているものの、副菜変更を余儀なくされており、将来的な給食センターのあり方の検討も含め、人員確保に努めることが報告されました。